

子どものさまざまな危険に自分たちで対応できるためのワークショップ

CAPプログラムを導入してみませんか

こまっている子どものために クラスの安心のために

子ども達の健康な発達のため安心を感じられる学校・クラスをつくる。

1978年アメリカで開発され、さまざまな国と地域で実践されてきた安定したプログラムです。

子どもたちには自尊感情や権利意識の向上、自分の感情を意識化して他者に伝えることの有用性を伝えます。それらの感覚を通してさまざまな危険や嫌なことから自分と友達を守ることができることを伝えます。



友達の力を借りて、クラスの中の人間関係のトラブルに対処する方法を紹介します。連れ去りや誘拐など子どもを対象にした犯罪に対して、科学的な事実に基づいた効果的な守り方や、被害にあったとしても被害を小さくするやり方を発達に応じて伝えます。子どもの被害で最も多い、知っている人からの被害に対しても相談する大切さを伝えます。

安心な学校をベースに、子どもにやさしいまちをみんなで作る。

行政だけでなく家族や親族だけでなく地域の大人みんなで子どもと保護者を育てていく、それが子どもにやさしいまちづくりです。

そのために、保護者に「子育てワークショップ」をします。地域やコミュニティの方に「子どもにやさしいまちづくりセミナー」をします。先生方にさまざまなクラス運営課題や要保護児童への対応などに役に立つ「教職員ワークショップ」をします。

「子どもと家族」を守る仕組みを社会でつくる。

すべての子どもが生まれてきてよかったと思えるようにすべての子どもに「あんしん」「じしん」「じゆう」を届けたい。

学校と自治体と私たちにじいろグループが協働で実現したいと願っています。